Tomoa 駅前シネマ

2026年7月19日（日）　笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」（笠間市友部駅前 1-10）

開演時間／①午前10:00～　②午後2:00～　③午後6:00～（開場各30分前・上映時間105分・字幕付）

●主催・問合せ●笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」（℡：0296－71－6637）

●共　催●茨城映画センター（℡：029－226－3156）、茨城県聴覚障害者協会

親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく――。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そこのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、〝きこえる世界〟と〝きこえない世界〟を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出していく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。

*コーダ：きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供

母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大にとっては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持て余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが・・・。

Living in Two Worlds

監督：呉美保　主演：吉沢亮　脚本：港岳彦

忍足亜希子　今井彰人　ユースケ・サンタマリア　烏丸せつこ　でんでん

原扶貴子　山本浩司　河合祐三子　長井恵里

原作：五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」（幻冬舎刊）

企画・プロデュース：山国秀幸

製作：小山洋平　依田　伊藤義彦　野村弘幸　荒木宏幸　一力雅彦　藤ノ木正哉　鳥居明夫

企画：宮崎大　プロデューサー：長澤佳也　音楽：田中拓人　撮影：田中創　照明：溝口知　録音：小清水建治　美術：井上心平　装飾：櫻井啓介　小道具：吉永久美子

『誰もが安心して共に暮らせる社会の実現を目指して。』

身近な「トモア」で名作映画を鑑賞しませんか！！

前売券 1,200円　発売日：5月17日～予定

（当日券／一般：1,400円、中・高生：800円）

※前売券の入手が困難な方は茨城映画センターで予約を受け付けます。

【前売券予約電話番号：090-2641-3156】

（午前 10：00～午後 5：00※土・日・祝は除く）

◆チケット販売所◆

●笠間地域交流センターともべ「Tomoa」
（TEL：0296-71-6637）

●STANDARD FLOWER GARAGE
（笠間市下市毛 213-1／TEL：0296-71-7737）

●茨城映画センター

※左記二次元コードの予約フォームより前売券のご予約が出来ます。

【お願い】●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控えいただきますようお願いいたします。またご入場の際等、適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

●駐車スペースに限りがあるため、可能な限りお乗り合わせ、または公共交通機関のご利用をお願いいたします。